

本時のねらい

・前時で予想した学校の中のごれについて、よごれの種類や場所に合ったそうじの仕方を考えることができる。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・教室や家庭科室のごれを、種類ごとに分類する際、タブレットを用いることで、何度も試行しながら考えをまとめることができる。
・オクリンクで児童それぞれの考えを共有することで、様々なそうじの仕方に気付き、次の学習で実践する方法を知ることができる。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ミライシード（オクリンク） ・大型モニター ・kahoot!

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭科学習クイズを行う。【写真1】 ・めあてを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の家庭科の学習に備えて、裁縫セットの使い方を確認するためのクイズ(kahoot!)を行う。
展開 (30分)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で予想した教室のごれについて、どの場所なのか、そのよごれのそうじの仕方を予想する。 ・教室のごれの場所とそうじの仕方をオクリンクで共有する。 ・前時で予想した家庭科室のごれについて、どの場所なのか、そのよごれのそうじの仕方を予想する。【写真2】 ・家庭科室のごれの場所とそうじの仕方をオクリンクで共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートとはちがい、記入した言葉をタブレット端末上で動かすことができるため、何度も試行しながら、よごれ場所やそうじの仕方を書きだすことができる。 ・前時作成の家庭科ノートのメモや自分の経験から思い出したことを追加することで、多様な学習ボードを作ることができる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・オクリンクで全員の考えを参考にしながら、それぞれの教室のごれの場所とよごれの原因についてまとめ、次の時間のそうじの仕方について考える。【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの意見を参考にしたり、自分の学習ボードを参考にしたりして、自分の考えをまとめることができる。 ・自分が考えたそうじの仕方に加えて、友だちの意見を参考にし、多様なそうじの仕方を知ることができる。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】クイズを用いて、裁縫道具の使い方について復習し、よごれの学習につなげる場面



【写真2】オクリンクを活用し、よごれの場所や、そのよごれのそうじの仕方を予想する場面。



【写真3】オクリンクで友だちの意見や自分の考えを見て、よごれの種類や原因についてまとめる場面

児童生徒の反応や変容

・家庭科の学習で使う裁縫道具について、定期的に知識を復習することで、次の学習にスムーズに入れるようになった。
・自分の体験を思い返したり、友だちの意見に触れたりしたとき、簡単な操作で分類できるので、すぐに自分の考えを付け加えたり、修正したりする場面が見られた。
・たくさんさんのそうじの仕方に触れることで、次の学習の際に、様々なそうじの仕方を試すことができた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・タブレットで簡単に言葉を動かすことができるので、場所ごとにごごれの種類とそうじの仕方を予想し、自分の意見を整理することができた。
・オクリンクで意見を共有することで、学級の友だちの意見を参考にすることができ、自分の意見を深めることができた。